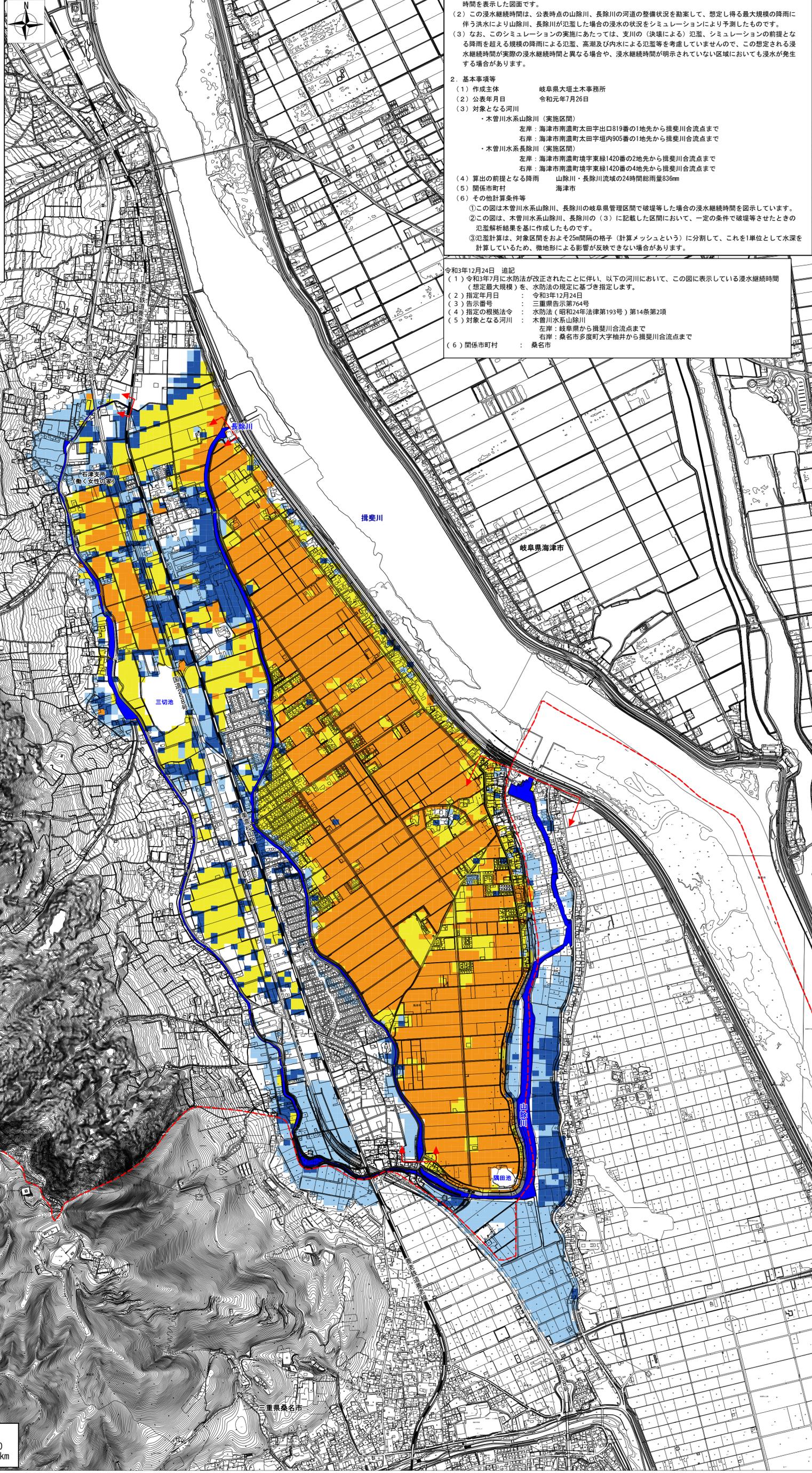


木曽川水系 山除川・長除川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



1 説明文

(1) この図は、木曽川水系山除川、長除川の岐阜県管理区間について、水防法の規定に準じた手法により浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、公表時点の山除川、長除川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により山除川、長除川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 岐阜県大垣土木事務所
 (2) 公表年月日 令和元年7月26日
 (3) 対象となる河川
 ・木曽川水系山除川（実施区間）
 左岸：海津市南濃町太田字出口819番の1地先から揖斐川合流点まで
 右岸：海津市南濃町太田字垣内905番の1地先から揖斐川合流点まで
 ・木曽川水系長除川（実施区間）
 左岸：海津市南濃町境字東線1420番の2地先から揖斐川合流点まで
 右岸：海津市南濃町境字東線1420番の4地先から揖斐川合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 山除川・長除川流域の24時間総雨量836mm
 (5) 関係市町村 海津市
 (6) その他計算条件等
 ①この図は木曽川水系山除川、長除川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の浸水継続時間を図示しています。
 ②この図は、木曽川水系山除川、長除川の（3）に記載した区間において、一定の条件で破堤等させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

令和3年12月24日 追記

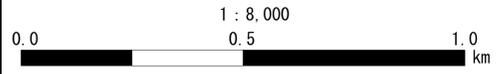
(1) 令和3年7月に水防法が改正されたことに伴い、以下の河川において、この図に表示している浸水継続時間（想定最大規模）を、水防法の規定に基づき指定します。

(2) 指定年月日 令和3年12月24日
 (3) 指定告示号 764号
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5) 対象となる河川 木曽川水系山除川
 左岸：岐阜県から揖斐川合流点まで
 右岸：桑名市多度町大字柚井から揖斐川合流点まで
 (6) 関係市町村 桑名市

凡 例

浸水継続時間（浸水深0.5m以上）（ランク別）

12時間未満の区域
12時間～24時間（1日）未満の区域
24時間～72時間（3日）未満の区域
72時間～168時間（7日）未満の区域
168時間～336時間（14日）未満の区域
336時間～672時間（28日）未満の区域
市町村境界
河川等範囲
洪水浸水想定区域の対象となる区間



注）この図面は岐阜県共有空間データおよび三重県共有デジタル地図（2011）を使用しています。